

# 急ごう

# 介護の国際化を

—— 笹山周作の果敢な挑戦 ——

編集者 塚口 伍嘉夫・野嶋 納美  
イラスト 福永 真里



介護福祉現場は、人材不足でこの対策は急務であり、国際人材の導入をはじめ、介護ができる体制づくりが必要である。

本書は、海外から介護人材を4つのルートで受け入れた法人の経験を持つ  
笹山氏が、介護の国際化に当たりそのルートを解説する。

介護福祉  
事業者の  
必携本

## 参考資料

59

第4部 介護福祉の国際化を図る準備を整える	49
【経営者の意識改革を】	50
【外国人介護人材受け入れの諸準備を】	52
【社会福祉経営者に訴える】	53
【エピローグ】	56

第3部 外国人介護士に対する支援内容について	39
【日本語習得支援について】	40
【介護福祉士国家試験の受験対策について】	42
【日常生活の支援について】	44
【N4の技能実習生、特定技能生を即戦力にするために】	46

第1部 外国人受け入れ開始と受け入れルート	9
【最初の受け入れはA国から】	10
【受け入れの国を広げる】	12
【受け入れルートも広げる】	15
【受け入れ側の費用負担】	18
第2部 受け入れルートの評価	33
【どのルートを選択するのが適切か】	34

## 【アローラーク】

現在、介護福祉現場は人材不足で危機的状況に陥っている。この人材不足は、要介護状態で支援を受けている高齢者の命にかかる深刻なものである。この状態は一過性のものではなく、今後一層進行するものと予想され、まさに高齢者の危機である。

笹山周作氏と対談者の塚口伍喜夫らは、高齢者の現在並びに予想される将来が介護難民となり巷に溢れることになるのではないかと予想し、『日本を棄老国家にするな』(2020／大学教育出版)で警告した。わが国を棄老国家にしないためには、まず国會議員がその危機意識を与野党問わず共有し、高齢者介護の堅固なシステムを構築することではなかろうか。

その一方で、現実的対応として介護現場の人材について、国際人材の導入も含め、その体制を創りあげる努力をすることが必要であろう。

ここに登場する笹山周作氏は、このままでは日本は棄老国家になるので

はないかと警鐘を鳴らしつつ、海外からの介護人材を導き入れる活動を先頭切って進めている一人である。

今回は、塚口との対談を通してその状況を紹介し、高齢者介護サービスを提供している社会福祉法人等の経営の参考に供したい。

付言すれば、

笹山周作氏は外国人介護人材受け入れの4制度で実際に経験したことを通じて社会福祉法人経営者、主として介護サービス提供施設を経営している社会福祉法人経営者に強く訴える場所したい、という思いがある。

（塚口伍喜夫）

#### 【人材不足への予感】

塚口： 笹山さんは、介護現場がとんでもない人材不足に陥るのではないかと予感され始めたのはいつ頃からですか。

笹山： 兵庫県社会福祉協議会福祉人材センターが、福祉人材フェスティバルを毎年開いています。そこへ、社会福祉法人がそれぞれ紹介ブースを設けて就職を希望する人たちに自らの法人の特徴や仕事内容、待遇状況などを説明するのですが、以前は、行列ができるほど求職者がブースに集まつてくれましたが、10年ほど前からその状況に変化が出てきて、まったく求職者が集まらないブースが増えてしまいました。その最大の原因の一つは、「以前あるテレビ局の番組で「介護の仕事は重労働で低賃金で結婚もできない」といった報道をしたことが引き金になつた」と思っています。その番組は介護現場の低賃金の実態などを訴える目

的だつたと思いますが、その趣旨に反して「介護サービス提供施設は就職するところではない」といった風評が広まつたからだと推測します。マスメディアの報道は問題提起するだけで終わりです。その影響がどのように出て、介護現場がどのように受け止め、人材の流れがどう変わつたかなどの後追いはしません。泥水をひっかけてそれでおしまいです。

日本人の介護職員はなかなか集まりません。そうするといきおい、外国からの人材を求めざるを得ません。

外国からの人材の受け入れは、最初はシブシブといった消極的なものだと思いますが、この消極的な受け入れは、受け入れ側、受け入れられる側の双方にとって良い結果をもたらさないと思います。外国からの人材を育て立派な介護スタッフとして役立つてもらう、その方向で努力することが大切だと思います。

## 第1部 外国人受け入れ開始と受け入れルート

1923036009009

ISBN978-4-86692-248-5

C3036 ¥900E

定価（本体 900円+税）



# う介護の国際化を 周作の果敢な挑戦—

外国人受け入れ開始と受け入れルート

受け入れルートの評価

外国人介護士に対する支援内容について

介護福祉の国際化を図る準備を整える